

平成17年3月吉日
特定非営利活動法人
日本住宅性能調査協会
専務理事 橋本 晋二

拝啓

春寒緩むころ、皆様に於かれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。先日はご多忙中にも関わらず、当協会主催の講習会にご参加を頂きまして、誠に有難うございました。

さて、昨年7月に新しく改訂されました「木造住宅の耐震診断と補強方法」についての講習会も、昨年9月から開催を始めて以来早いもので今回で5回目となりました。毎回数多くの方にご参加を頂いており、今回の講習会も定員を超える80名の方が研鑽を深められました。これは皆様が新しい耐震診断法の活用に積極的に取り組まれている現れと思われまます。講習会終了後行われました当協会の資格制度「住宅性能評価士」の筆記試験には76名の方が受験され、43名の方が合格されました。受験された皆様全員に合格して頂きたいものですが、残念ながら不合格の方もいらっしゃいました。新しい耐震診断法は、従来行っていた診断方法と比べ、診断内容も詳細かつ厳密になり、専門的な耐震技術の習得や一定基準以上の診断技術レベルが現場でも必要となって来ており、採点も厳格に行なわせていただいております。合格された方は当協会の「評価士」としての自覚を持って、新しい診断法をおおいに活用し、耐震診断・耐震改修の普及に努めて頂きたいと思ひます。また今回残念ながら不合格となった方も、次回の講習会までに配布されたテキスト等で勉強して頂いて、是非合格出来るよう頑張るって頂きたいと思ひます。

敬具